

京丹後市総合計画・基本計画の体系

将来像と基本理念

基本方針

計画項目

ひとみずみどり
歴史と文化が織りなす交流のまち

地域力

豊かな自然や歴史・文化の恵みを活かし、世界に誇れるまちづくりをめざします

安心力

ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします

活性力

ひとが育ち、夢がふくらみ、未来に飛躍するまちづくりをめざします

6つの基本方針

I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市

にぎわい創出プロジェクト構想

II 暮らしの中でのちが輝く 環境循環都市

環境先進都市推進プロジェクト構想

III 生きる喜びを共有できる 健やか安心都市

安心ネットワーク形成プロジェクト構想

IV 次代を担う若い力が活躍できる 生涯学習都市

学びのミュージアム推進プロジェクト構想

V 共に築き、結び合う パートナーシップ都市

パートナーシップ推進プロジェクト構想

VI 災害に強く、快適で暮らしやすい うるおい安全都市

快適・安全・交流都市形成プロジェクト構想

計画推進のために

ひとづくり・ものづくり・交流の先進地
新・丹後王国の創造に向けて

- 定住の促進
- 農林業の振興
- 漁業・海業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 京丹後ブランドの販売戦略
- 自然環境の保全と創造
- 新しいエネルギーの導入と活用
- ごみ・廃棄物対策
- 循環型社会の構築
- 市民主体の健康づくりの推進
- 医療保険制度の一層の充実
- 患者本位の医療体制の充実
- 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
- 共に生きる障害者福祉の充実
- 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
- 子育て支援
- 学校教育の充実
- 若者の育成
- 社会教育・スポーツの充実
- 歴史文化遺産の保全と活用
- 地域コミュニティの強化
- 協働と共創のまちづくりの推進
- 人権の尊重
- 男女共同参画の推進
- 国際交流と地域間交流の推進
- 文化芸術活動の振興
- 適正な土地利用の推進
- 道路ネットワークの整備
- 河川・海岸・港湾の整備
- 住宅の供給と安心できる住環境の整備
- 地域交通の確保
- 上下水道の整備
- 防犯・交通安全の推進
- 消防・防災体制の強化
- 地域情報化の推進
- 効率的な行財政運営の推進

平成18年度の主な仕事をご紹介します

I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市

1 定住の促進

京丹後の魅力を全国に発信します

■新・丹後王国発信事業【総務費】(新規) 1,205万円
(企画政策部 総合戦略課)

「新・丹後王国の創造」のためにさまざまな取り組みを行います。丹後をより多くのかたに知ってもらうように、全国へ丹後の魅力を創造・発信します。

○「新・丹後王国発信」DVDの作成、イベントの開催など 788万円

京丹後の魅力を伝えるためのイメージDVD(紹介映像)を作成します。また、都市部の人の集まる場所で京丹後の魅力を発信するイベントを開催し、京丹後への誘客を推進するなど、京丹後市をアピールします。

○丹後ふるさとミュージアム「移動展覧設備」の整備 320万円

丹後ちりめんなどのブランド商品の展示設備を整備します。展示設備は、移動式なので地域や場所を問わず京丹後市のブランド商品を紹介できます。市民のみなさんに貸し出すことも考えています。

○「オープンカレッジ・丹後学」講座の開講 97万円
歴史や文化、観光スポットなどに関心があり、京丹後市を訪れるかたに「丹後の魅力」を発信していきたいと思っている市民のみなさんを対象に「オープンカレッジ・丹後学」を開講します。(詳しくは後日お知らせします)

新・丹後王国の創造
かつて丹後地域には大陸との窓口として経済的・文化的に他地域に優る卓越性や先導性を持ち、技術や文化の発信地として栄えた「丹後王国」があったとされています。その「丹後王国」の繁栄を現代的にとらえなおして新しい時代の丹後の魅力やふんだんな地域資源を発信していきます。

2 農林業の振興

新たな農業振興策に取り組みます

■新農産物流通体系構築プロジェクト【農林水産業費】(新規) 300万円
(農林水産部 農村振興課)

市内でつくられる農産物の流通体系を改善するため、民間事業者と市、農協などが協働してプロジェクトチ

ームを結成し、地産地消をはじめとする地域農産物の生産・消費の動向を調査し、新しい地域農産物の流通体系のあり方を検討します。

■アグリビジネススクールの開設【農林水産業費】(新規) 80万円
(農林水産部 農村振興課)

生産から流通・販売までの知識・技術などを習得していただくため農業スクールを開設します。効率的で安定した農業経営農家の育成を図ります。

■遊休農地の活用ー葉草栽培の実証ー【農林水産業費】(新規) 50万円
(農林水産部 農村振興課)

遊休農地の利活用を図るため、新規作物などの栽培方法について実証研究をします。今年度はモデル的に葉草栽培の実証試験を行います。

■有機農業奨励補助金【農林水産業費】(新規) 240万円
(農林水産部 農村振興課)

農地の生産性向上に不可欠な土づくりを積極的に進めながら、減化学肥料による食の安心安全、環境にやさしい農業を推進しています。近年、有機農産物に対する消費者ニーズが高まっていることから、今年度からカニガラ・竹炭などの地域資源を活用した有機農業による農産物のブランド商品化に取り組みます。

○カニ殻、竹炭、カキ殻などの有機資材を活用して農産物のブランド商品化を図る農業者を対象に資材購入費の一部を補助します。

■環境保全型農業普及・実証プロジェクト事業【農林水産業費】(継続) 285万円
(農林水産部 農村振興課)

バイオガス発電から排出される残さを堆肥にして活用するなど、減農薬・脱化学肥料による農業生産の実証事業に取り組み、環境保全型農業の普及を図ります。(平成17年度～平成21年度)

■農地・水・環境保全対策支援事業【農林水産業費】(新規) 1,276万円
(農林水産部 農村整備課)

近年、農地や農業用水などの資源を守る集落の「まとまり」が弱まっています。集落の機能を守っていくためには、今まで以上の取り組みが欠かせません。そこで、地域ぐるみで農地や水を守る共同活動や環境保全のための地域活動が支援される国の新しい制度ができました。

平成19年度からの本格的な実施にむけて、京丹後市ではモデル的に市内2地区で活動支援をしていく予定です。



話し合い会議 水路掃除 草刈り